

他国からの弾道ミサイル発射に伴う Jアラート警報発令時の対応について

→ 自宅待機及び登校開始・再開についての

緊急メール配信はありません。

1. Jアラート警報が登校前に発令された場合

(1) 自動的に自宅待機といたします。

【電話連絡網や緊急メール配信は無し】

(2) 政府からの情報により、弾道ミサイルが日本上空を通過した後に、テレビ・ラジオで「ミサイルが●●海に落下した・落下の可能性がなくなった」との情報を確認した後、自動的に登校開始といたします。

【電話連絡網や緊急メール配信は無し】

2. Jアラート警報が登校中に発令された場合（防災行政無線等により発令を確認できた場合）

(1) 自分のいる位置によって自宅に急いで戻るか、そのまま学校へ急いで行くか、近くのできるだけ頑丈な建物に避難する。
(各家庭で確認をお願いいたします)

(2) 自宅へ戻る、または建物に避難した場合は、上記1. (2)と同様に、テレビ・ラジオ、防災行政無線等により「ミサイルが●●海に落下した・落下の可能性がなくなった」との情報を確認した後、登校再開といたします。

【電話連絡網や緊急メール配信は無し】

地震・津波災害時の対応について ①

登校前について

☆震度5弱以上の地震発生 または、大津波警報・津波警報発令のときは、臨時休校です。

- ・休日も含め部活動は活動停止
- ・津波注意報の場合は自宅待機

※発生時刻によって「通常登校」、「時間差登校」の対応をとることがあります。

- ・津波警報（注意報）が解除になり、地震後の通学路の安全が確保された場合は、各校一斉メール」を使ってその後の対応に関して連絡いたします。
- ・何も連絡がない限り、臨時休校（自宅待機）になります。また、報道機関の情報も活用して下さい。

○登下校時や在校時の対応については、別紙をご確認ください。

地震・津波災害時の対応について ②

登下校時について

☆児童生徒には以下の行動をとるよう指導します。

- 大きなゆれを感じたら身を守る行動をとる。
- 大津波警報、津波警報が出たら、海、川沿いから出来るだけ離れる。
- 自宅に近い場合は自宅に戻る（緊急の場合はどこの家にも助けを求める）。
- 近くに年下の子がいたら、声をかけ一緒に行動する。
- 緊急避難場所の一番近いところへ逃げる。
- スクールバス乗車中は、運転手さんの言うことを聞く。

○登校前、在校時については別紙をご覧ください。

地震・津波災害時の対応について ③

在
校
時
に
つ
い
て

- 生徒の安全に全力をあげて対処します。
- 基本的に**震度5以上、大津波警報、津波警報発令で学校待機**となります。
(上記以外は、震度や津波注意報の有無、校区の状況から集団下校等の措置をとることがあります。)
- 校舎が安全な海拔の位置にあるため、大津波警報・津波警報時は状況確認が済むまで教室待機します。
- **通学路の安全や、保護者宅の被害状況が掌握できない場合は、学校待機**をいたします。その際は、保護者のお迎えを原則といたします。
- 中学校は、通学路の安全や地域の被害状況が軽微な場合は、一斉下校とする場合があります。

ヒグマ出没時の対応について ④

登校前について

☆学校への通報があった際は、以下の対応をとります。

- 各校一斉メールにて、安全が確保されるまで、**自宅待機** の連絡をします。（※出没時刻にもよりますが、午前7時までにメールを送ります。）
- 安全が確保された段階で各校一斉メールにて、その後の対応に関して連絡いたします。

ヒグマ出没時の対応について ⑤

登下校時について

☆児童生徒には以下の行動をとるよう指導します。

- ・ヒグマを目撃した場合、刺激を与える行動はとらず、自宅が近い場合は自宅に戻る（保護者に警察に連絡をしてもらう）。
- ・緊急の場合はどこの家にも助けを求め、警察に連絡をしてもらう。
- ・単独行動はとらず、周囲の人と声をかけ一緒に行動する。

ヒグマ出没時の対応について ⑥

在校時について

・ヒグマ出没場所や、移動状況など警察や教育委員会と連携を図り、通学路の安全が確保されるまで、**学校待機** といたします。

(警察・教職員とで校区のパトロールをします)

・安全が確保された場合は、一斉下校としますが、遠方の方は、お迎えをお願いすることがあります。

(警察・教職員でパトロールしながら、安全を確保します)